



第2～第4では、精神障害・発達障害者への職業訓練における導入期の訓練での取り組みについて説明しました。ここでは導入期の訓練を進めていくうえでの留意点について説明します。

導入期の訓練の進め方

- ・ 訓練生の情報伝達にあたっての留意点
- ・ 規則の明確化

1 訓練生への情報伝達にあたっての留意点

入校時のオリエンテーションや訓練のガイダンスでは、「校内の規則」、「一日のスケジュール」、「訓練内容・進め方」、「就職までの流れ」等、多くの伝達事項があります。訓練生は、多くの情報が伝達される状況で「聞き漏らしてしまわないか」、「これからの訓練についていけるだろうか」といった不安、緊張、ストレスを抱えながらも「訓練に頑張っていこう」としています。そこで、不安や緊張を和らげて安心して訓練を開始できるために、情報伝達時の留意点を説明します。

(1) 円滑に訓練を開始するための工夫

入校時のオリエンテーションや訓練のガイダンスの内容は、訓練生にとって理解しやすい内容とし、分割して説明することで訓練生の負担を軽減できます。具体的には、図5-1のように入校当初のオリエンテーションでは訓練を行ううえでの最低限必要な内容のみを伝達し、訓練の進捗に合わせて「ガイダンス」、「技能訓練」、「適応支援講座」を組み合わせるよう進めます。

* 訓練の段階的な進め方のイメージ

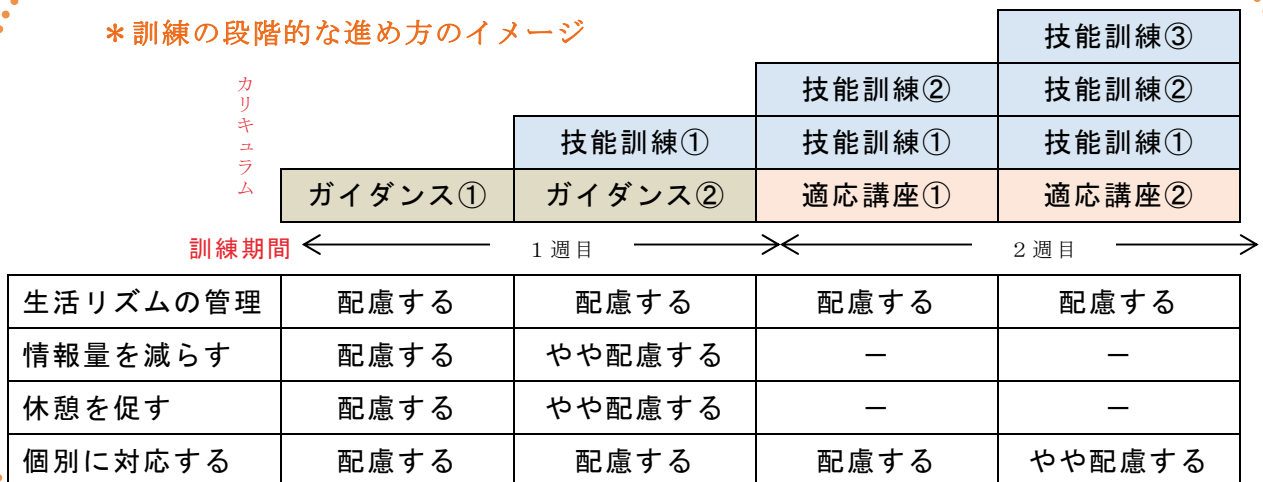


図 5 - 1 訓練の段階的な進め方の例

(2) 先の見通しをわかりやすく提示するための工夫

精神障害・発達障害がある訓練生の中には、先の見通しが立たない場面に遭遇すると急に強い不安を感じて落ち着かなくなることがあります。そこで先の見通しが立てられるように、入校から数週間の訓練の予定を具体的に記した資料を提示・配付する等の可視化や、物事をわかりやすくするために一定の枠組みを決めて（構造化）説明をすることで、理解が進み、安心して訓練を受講することができます。図 5 - 2 に構造化の例を示します。

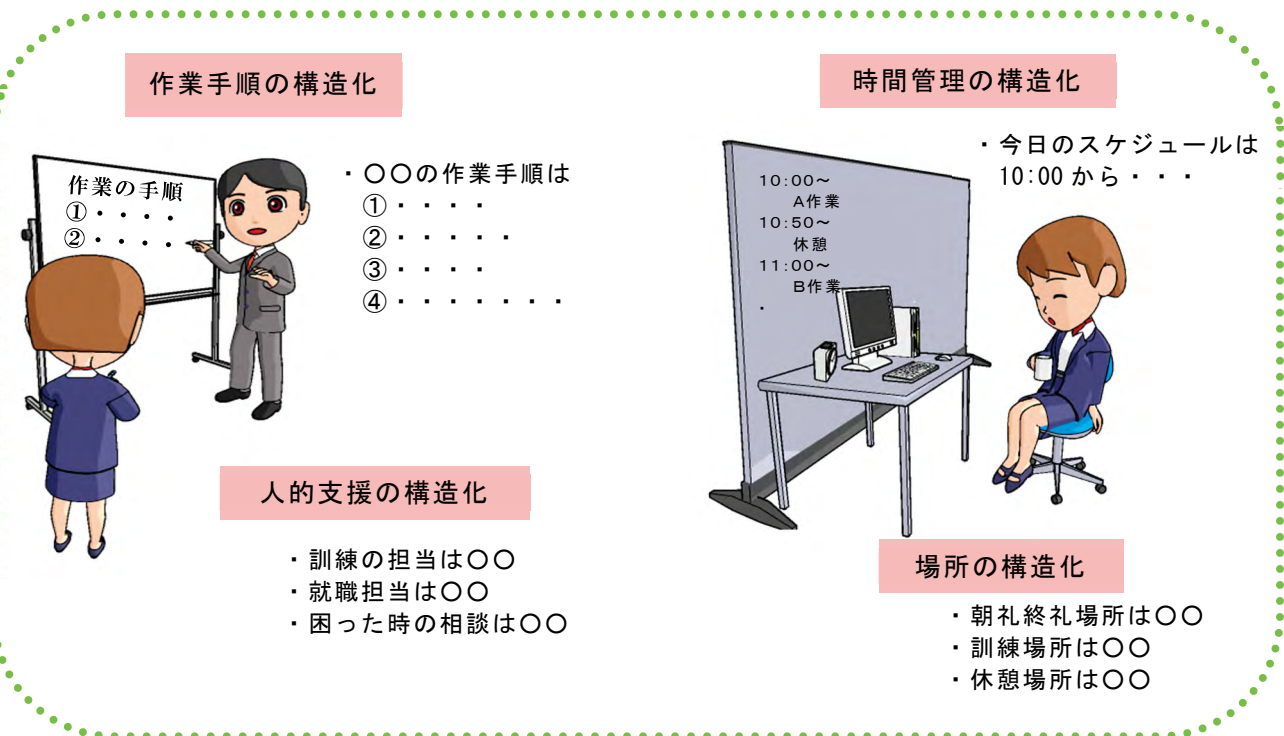


図 5 - 2 構造化の例

(3) 予定変更伝達時の留意点

訓練場面では、予定をやむを得ず変更することがあります。訓練生のなかには、何の前触れもなく急な予定変更を伝えられたことで、強いストレスや不安を感じてしまうことがあります。これを避けるために、「これから予定変更を伝えますが、大丈夫ですか」と最初に伝えてから訓練生の受け入れ状況を確認し、少し間を取って具体的な変更内容を伝えることが有効です。

予定変更の伝え方

良い例

予定が変更になりました。お伝えしてもいいですか？（返答を待つ）
〇〇の予定から△△に変更になります。

悪い例

〇〇から△△に予定が変更になりました。（初めから変更点を伝える）

(4) 説明資料作成時の留意点

情報の受け入れ（インプット）について、視覚での情報取得が優位か、聴覚での情報取得が優位か、どちらかに片寄っている傾向を有する訓練生がいます。特に、聴覚での情報取得が苦手な訓練生については、口頭での説明より、文字情報と同時に図や写真を盛り込んだ説明資料を作成して説明することが有効です。



図 5 - 3 説明の方法

(5) 集合場面での全体説明時の留意点

集合場面では全体に対して口頭で説明することが多くなります。全体に向けた口頭の説明が「自分に向けられたものではない」と思い、指示が入りにくい訓練生が見られます。そのため全体に向けて説明する職員のほかに、個別に説明する職員が同席できるような指導体制の確保が望まれます。

職員によって、説明内容、表現方法に差が生じないように、説明内容を定型化し、必要に応じて訓練生に説明資料を配付します。

また、職員が個別に訓練生に対応した場合は、その状況を記録して職員間での情報を共有することが大切です。

2 規則の明確化


訓練生のなかには、暗黙の決まりごと（例：相手の状況を見て話しかけるようにする。）のある環境において、その決まりごとがわからず自分勝手な行動をしてしまい他の訓練生とトラブルになることがあります。

「休憩時間の過ごし方」、「訓練の服装」、「訓練の持ち物」、「物の置き場所」、「更衣室の使い方」等、あえて説明しなくてもわかっているだろうと思われるようなことでも、図5-4「身だしなみの規則例」や図5-5「服装の規則例」等を掲示して、規則を明確に示しておくことでトラブルを回避することができます。

〈注意事項〉

● 訓練時間中の身だしなみ

- ・名札(オレンジ色)着用
- ・ハンカチ・ティッシュは常に携帯
- ・必要のないアクセサリーはつけない
- ・携帯電話はマナーモードにする
- ・清潔さ・動きやすさを意識して印象を良くする
- ・服装については 基本は襟付き



4

図5-4 身だしなみの規則例

訓練中の服装

訓練中は、仕事を念頭に置いた服装を心掛けましょう

★訓練にふさわしい服装の例★



シャツ、襟のあるもの

セーター

スカート
丈が膝下のもの

スニーカー

ポロシャツ

チノパン、綿パン

ビジネスシューズ

図5-5 服装の規則例